

# 4.運用を通じて修得する技術

## JEM及びHTVの運用を通じた技術修得

### ●安全・確実な実時間運用

- 計画・手順設定、訓練、運用実施、危機管理
- 国際間の連携運用 (ISS搭乗員、地上要員)
- 緊急時対応手法 (危険回避、トラブル措置・回復)



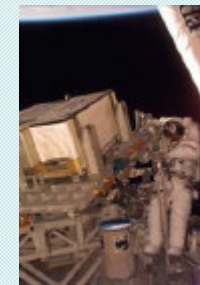
(JEM及びHTVの実時間運用：  
筑波 運用管制センター)



(宇宙飛行士訓練、  
操作手順確認：  
筑波 試験設備)

### ●長期運用でのJEM機能維持・向上

- 保全・修理、補給
- 開発結果の確認 知見の修正 開発技術への反映



(船外活動)



(長期宇宙滞在)

### ●日本人宇宙飛行士の長期宇宙滞在、健康管理

- 訓練、宇宙活動
- 健康管理、医学運用
- 宇宙医学データ蓄積

## 国際協力プロジェクトの利点を活かした技術修得

### ●米国・ロシアが行うISS運用からの知見獲得

- 危機管理、トラブル措置・回復等の手法

### ●有人輸送機への搭乗、国外訓練を通じた技術修得

- シャトル、ソユーズへの搭乗、訓練
- 各国ISS構成要素を用いた訓練



(シャトル訓練)



(ソユーズ訓練)